

測定仕様・実績一覧

	平成 16 年度	
	反 射 法	屈 折 法
< 発震系 >		
震 源	大型起振車 4 台 (標準)	大型起振車 4 台
スイープ周波数	8 - 40 Hz	6 - 40 Hz
スイープ数/発震点	標準 20 回	75 ~ 125 回
スイープ長	20 sec	20 sec
発震点間隔	標準 150 m	
総発震点数	117 点	4 点
< 受振系 >		
受振点箇所	受振ライン	受振ライン
独立受振点		
固有周波数	10 Hz	10 Hz
10Hz		
受振器数/受振点	9 個	9 個
9 個		
受振点間隔	25 m	25m
原則 50 m		
総受振点数	527 点	581 点 (527 + 54)
測線長(受振区間)	13.15 km	約 19.5 km
< 記録系 >		
データ収録装置	GDAPS-4	GDAPS-4
MS-2000D		
サンプル間隔	4 msec	4 msec
4 msec		
チャンネル数	400, 527	527
台 × 6CH)		54 (9
記録長 (コリレーション後)	8 sec	12 sec
連続記録)		(連

総受振点数は、交差点や川などにより受振器の設置ができなかった受振点 (Dead 受振点) を除いた有効受振点数